

令和 5 年度 動物愛護相談センターにおける動物由来感染症調査結果

(令和 6 年 1 月 10 日現在)

1 犬と猫の寄生虫調査

- (1) 検体採取期間 令和 5 年 4 月から令和 6 年 1 月まで
- (2) 対象及び規模 ①犬 5 頭(延べ検体数 5)、猫 31 頭(延べ検体数 51)の糞便
②犬 3 頭、猫 5 頭の虫体確認
- (3) 方法 ①直接塗沫法及び飽和食塩水浮遊法による糞便中の虫卵の同定
②解剖検査による心臓内及び消化管内における虫体確認と同定
※動物愛護相談センターで虫卵及び虫体の同定が困難な場合は、健康安全研究センター微生物部病原細菌研究科寄生虫研究室に同定の協力を依頼する。

(4) 結果

① 糞便検査 (虫卵)

対象 (延べ検体 数)	陽性頭数	内 訳			
		回虫	イソス ^ラ 属	条虫(エキノコックス含む)	鞭虫、鉤虫等
犬 5 頭 (5 検体)	0	0	0	0	0
猫 31 頭 (51 検体)	5	2	3	瓜実条虫 1	0

糞便検査を実施した猫 1 頭について、猫回虫とイソスポラの重複感染を認めた。

② 解剖検査による虫体確認

検体	陽性頭数	内 訳			
		犬系状虫	回虫	条虫 (エキノコックス含む)	鞭虫、鉤虫等
犬 3 頭	0	0	0	0	0
猫 5 頭	0	0	0	0	0

2 犬及び猫の SFTS(重症熱性血小板減少症候群) ウイルス遺伝子モニタリング調査

- (1) 検体採取期間 令和 5 年 4 月から令和 6 年 1 月まで
- (2) 対象及び規模 犬及び猫の口腔拭い液 犬 2 頭、猫 50 頭
- (3) 方法 リアルタイム PCR 法によるウイルス遺伝子の検出
- (4) 検査機関 健康安全研究センター微生物部ウイルス研究科
- (5) 結果 すべての検体で SFTSV 遺伝子の検出を認めなかった。